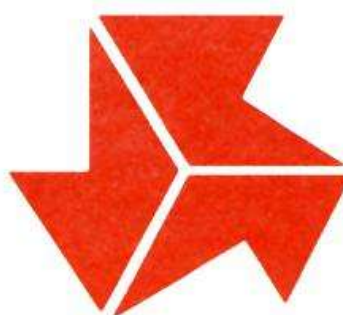


令和7年度

全国高等学校定時制通信制体育大会

第27回バドミントン大会

開催要項



期日 令和7年8月19日(火)～8月22日(金)

主催 (公財)全国高等学校定時制通信制教育振興会 (公財)全国高等学校体育連盟
(公財)日本バドミントン協会 神奈川県教育委員会

主管 (公財)全国高等学校体育連盟定時制通信制部バドミントン専門部
神奈川県バドミントン協会

後援 文部科学省 スポーツ庁 厚生労働省 全国定時制通信制高等学校長会
全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会
神奈川県高等学校定時制通信制教育振興会 小田原市 小田原市教育委員会
小田原地区高等学校定時制通信制教育振興会 神奈川県高等学校定時制通信制教育研究会
神奈川県高等学校体育連盟 小田原バドミントン協会 (公財)石澤奨学会
(公財)日本スポーツ協会 神奈川県高等学校定時制通信制教頭協会
NHK 日刊スポーツ新聞社

協賛 ヨネックス株式会社



競輪の補助事業

この全国高等学校定時制通信制体育大会は、
競輪の補助により開催しています。

<http://jka-cycle.jp>

1. 期 日 令和7年8月19日(火)～8月22日(金)

(1)開会式	令和7年8月19日(火)	15時30分
(2)競 技	令和7年8月20日(水)～8月22日(金)	3日間
(3)閉会式	令和7年8月22日(金)	競技終了後

2. 会 場 小田原市総合文化体育館「小田原アリーナ」
〒250-0886 神奈川県小田原市中曽根 263
TEL 0465-38-1144

3. 競技種目 (1)男女各団体戦
(2)男女各個人戦(シングルス)

4. 競技日程

8月19日(火)	11時30分	公式練習		
	13時45分	都道府県代表者会議(小田原アリーナ1階 研修室)		
8月20日(水)	9時30分	競技開始	団体戦[1回戦]	個人戦[1回戦～2回戦]
8月21日(木)	9時30分	競技開始	団体戦[2回戦～4回戦]	個人戦[3回戦～4回戦]
8月22日(金)	9時30分	競技開始	団体戦[準決勝～決 勝]	個人戦[5回戦～決 勝]

5. 競技規則

令和7年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。

6. 競技方法

(1)団体戦

- ① トーナメント戦方式による。ただし、3位決定戦は行わない。
- ② ダブルス1組・シングルス2名で行い、マッチ順序は、ダブルス・第1シングルス・第2シングルスで実施する。ただし、ダブルス、第1シングルス、第2シングルスは兼ねて出場することはできない。
- ③ 1対抗戦は2マッチ先取とする。また、スコアリングシステムは、2ゲーム先取の3ゲームで行い、そのゲームは、21点を先取したサイドが勝者となる。
- ④ 1回戦、2回戦は勝敗が決まっている場合も第2シングルスを行う。
また、同対抗試合の勝敗が決まっている場合に限り、残りの第2シングルスのオーダー変更を認める。

(2)個人戦(シングルス)

- ① トーナメント戦方式による。ただし、3位決定戦は行わない。
- ② 全てのマッチのスコアリングシステムは、2ゲーム先取の3ゲームで行い、そのゲームは、21点を先取したサイドが勝者となる。

7. 引率・監督

- (1)引率責任者は、団体の場合は当該校校長の認める当該校の職員とする。
個人の場合は当該校校長の認める学校の職員とする。
- (2)団体戦の監督、助監督、コーチおよび個人戦のコーチ席許可者は、当該校校長が認める職員とする。

8. 使用用器具

(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和7年度第1種検定合格球シャトルを使用する。

9. 参加資格

- (1)全国高等学校定時制通信制体育大会開催基準要項13の(1)から(11)の規定を満たしている。
- (2)プレーヤーはあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (3)下記の生徒の参加は認めない。
 - ① 聴講生
 - ② 在籍校において卒業を目的としない者
 - ③ 意図的な留年を繰り返し、競技種目を越えて連続で出場する者
 - ④ 高校生として教育活動が著しく損なわれている者
 - ⑤ 別途定める「全国高等学校定時制通信制体育大会における個人情報及び肖像権に関する取扱い」の承諾が得られない者
 - ⑥ 参加料の未払いの者
 - ⑦ 各競技専門部が定める「定通大会」参加資格及び規定に反する者
 - ⑧ その他、大会運営上支障があると判断され、参加が不適切であると認められた者
- (4)(公財)日本バドミントン協会に令和7年度に会員登録を完了した者(期日:令和7年8月19日まで)
- (5)本大会に規定された線審を確保する為に、各都道府県へ団体戦出場1チーム、個人戦(シングルス)1名につき、それぞれ1名以上の(公財)日本バドミントン協会公認審判員有資格者の線審派遣を求める。
上記においては、出場競技者(監督、助監督、コーチ及びプレーヤー)、および参加者(応援者・観覧者)まで対象を拡大する。

10. 参加制限
- (1) 団体戦
- ① 都道府県選抜対抗とし、各都道府県参加チーム数は男女各1チームとする。
 - ② 開催地(神奈川県)は、男女とも、各1チームを増やすことができる。
 - ③ チーム編成は、男女共、都道府県代表責任者1名、監督1名、助監督1名、コーチ1名、プレーヤー(同一校に限定しない)4名から6名とする。コーチは置かなくてもよい。また、4名を欠いた場合はチームとして認めない。
- (2) 個人戦
- ① 都道府県代表によるシングルストーナメント戦とし、各都道府県参加者数は男女各2名とする。
 - ② 開催地(神奈川県)は、男女とも、各シングルス2名を増やすことができる。
 - ③ 第26回大会において個人戦ベスト8以上の者で、出場資格を有する者は、別枠推薦者として、上記の限りではない。

11. 大会参加申込(※詳細は別紙を参照すること)
- (1) 大会申込方法
- ① 令和7年6月26日(木)までに下記の申込先宛に簡易書留郵便で申し込むこと。
 - ② 参加確認申込総括表のエクセル形式ファイルを下記のメールアドレスに令和7年6月26日(木)までに送信してください。
- (2) 大会申込先

〒232-0061 神奈川県横浜市南区大岡 2-29-1 横浜市立横浜総合高等学校 全国高等学校定時制通信制バドミントン大会 事務局長 内藤 勇輝 TEL 045-744-1900 FAX 045-744-1933 Mail h11teitsubad@gmail.com

12. 参加料
- (1) 参加料
- ① 団体戦 1チーム 45,000 円
 - ② 個人戦 1 人 4,500 円
- (2) 納入方法

令和7年6月26日(木)まで所定の銀行振込用紙を用いて、下記の口座に振り込むこと。

指定銀行	みずほ銀行 上大岡支店
口座番号	普通口座 2531025
口座名義	全国高等学校定時制通信制バドミントン大会

13. 組合せ
- (1) (公財)日本バドミントン協会指名のレフェリーもしくは、デビュティーレフェリーの指示の下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。
- (2) 組合せは、令和7年7月6日(日)に行う。
- (3) 組合せ規準
- ① シードは男女共第26回大会、団体戦ベスト8以上のチーム、個人戦(シングルス)ベスト8以上の者を現行の競技規則大会運営規程第5章第32条に従って配分する。
 - ② 男女共第26回大会、1回戦に対戦した団体戦チーム及び個人戦シングルスプレーヤーが再び1回戦で対戦することを避ける。
 - ③ 男女共同一都道府県より複数の参加があるチーム及び個人戦シングルスプレーヤーは等分に分ける。
 - ④ 男女共ベスト8以内のシード直下については、同一都道府県のチーム及び個人戦シングルスプレーヤーが複数入らない様に配慮する。又、複数年に連続して同都道府県が入らない様に配慮する(開催地枠を除く)。

14. 表彰
- (1) 団体戦
- ① 優勝チームに大会優勝杯、文部科学大臣杯、厚生労働大臣杯、小田原市長杯(以上、持ち回り)、賞状、(公財)日本バドミントン協会優勝メダルを授与する。
 - ② 準優勝・第3位チームに賞状、(公財)日本バドミントン協会入賞メダルを授与する。
- (2) 個人戦
- ① 優勝者に大会優勝杯(持ち回り)、賞状、(公財)日本バドミントン協会優勝メダルを授与する。
 - ② 準優勝・第3位に賞状、(公財)日本バドミントン協会入賞メダルを授与する。
- (3) レプリカ
- 前年度の優勝チームおよび優勝者には大会優勝杯返還に伴い、レプリカを授与する。

15. 宿泊・弁当(※詳細については4月以降別紙にて改めてご連絡します。)
- (1) 宿泊先・宿泊料金
- ① 箱根湯河原地区「ニューウェルシティ湯河原」 1泊2食 生徒 12,320 円 教員 12,470 円
小田原駅前地区「天成園別館」 1泊朝食付き 13,200 円 ※夕食は1,500円で追加可能。要申込。
 - ② 宿泊料金はサービス料および消費税を含む。
 - ③ 入湯税 150 円別(高校生は入浴税不要)
- (2) 昼食弁当代 972 円(税込)
- (3) 送迎バス代 1,500 円(ホテル⇄小田原アリーナ往復)
- (4) 宿泊申込方法
- 宿泊申込書に必要事項を記入し、期限までに直接旅行会社へ送付すること。

(5) 宿泊申込先

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-8 浜松町清和ビル9F
日本旅行東京教育旅行支店 TEL 03-6848-9950 FAX 03-6848-0758

(6) 取り消しの場合、別途定める規定により、取り消し料金が発生する場合があります。

16. 細 則

(1) 参加資格の定義について

各学校の定時制バドミントン部、通信制バドミントン部に所属する者で、令和7年度の関東高等学校バドミントン大会、全国高等学校総合体育大会、全日本ジュニアバドミントン選手権大会、全国高等学校選抜バドミントン大会等（各地区大会を含む）、に出場した者は、団体戦については当該者登録を抹消し、追加登録を認めない。
競技開始以降であれば、該当チームの記録を抹消する。個人戦については当該者登録を抹消し、参加枠の繰り上げ充当を認めない。競技開始以降であれば、該当者の記録を抹消する。

(2) 登録者変更

- ① 都道府県代表者会議 30 分前までに指定の書面で提出された場合に限り、団体戦は、監督、助監督、コーチ及びプレーヤー、個人戦は、コーチ席許可者1名(当該校顧問・引率・指導者等)の変更を認める。
- ② 個人戦(シングルス)について、組合せ確定後はプレーヤーの変更を認めない。

(3) 棄権

- ① 団体戦及び個人戦(シングルス)について、事前に棄権する場合は、都道府県代表者、監督(団体戦)或いは本人(個人戦)が棄権用紙を作成、責任者承認の上、運営本部に提出。レフェリーの確認を経て棄権を認める。
- ② 個人戦(シングルス)について、組合せ確定後はプレーヤーの変更を認めない。

(4) 引率責任者は、事前の生徒指導を万全に期すとともに参加者の行動に対して責任を負うものとする。

(5) プレーヤーの着衣

- ① 競技時の着衣は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品を限度とする。
- ② ウェア(上衣)の背面には、3箇所(都道府県名、学校名、プレーヤー名)の内、都道府県名は必須とし、2箇所まで認め、日本文字表記で単色、かつ表示部分の配色に対して明瞭に判読できる色とする。その他、大会運営規程第23条、第24条に従う。
- ③ 文字列の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、大会運営規程第24条に従う。
- ④ ゼッケンを使用する場合、白地に文字列は、縦20cm程度、横30cm程度の大きさを基準とする。
文字の色は黒色または濃紺色とし、4点留めで固定する。(ゼッケン、安全ピン4本×4セットは各都道府県で用意する。)

例) 都道府県名の配列

北海道	6cm～10cm	小田原総合	6cm～10cm	沖縄県
		神奈川	6cm～10cm	内藤

(6) コーチ席

- ① コーチ席は、各エンド後方に2席設ける。コーチ席に入る者は、ゲーム毎にプレーヤーサイドへチェンジエングスする。
- ② 団体戦のコーチ席に入る者はプレーヤーを除く当該チームの競技者(監督、助監督、コーチ)、個人戦のコーチ席に入る者はプレーヤーを除く当該チームの競技者(監督、助監督、コーチ)やコーチ席許可者(1名)[プレーヤーを除く当該校校長の認める職員(当該校顧問・引率・指導者等)]とし、マッチに相応しい着衣を臨むこと(チームユニフォーム、スラックス、上履きシューズ着用。七分丈スラックス・ハーフパンツ・スリッパ・サンダルは不可)。その他、大会運営規程第24条に従う。

(7) 審判員について

- ① 主審、線審(得点表示員を除く)は(公財)日本バドミントン協会公認審判員有資格者でなければならない。
ただし、準決勝以上の主審は2級以上の公認審判員有資格者でなければならない。
- ② 審判員は本大会に参加する競技者以外の第三者でなければならない(得点表示員を除く)。
ただし、本大会において大会運営上、準決勝以上を除き、大会の参加者にも線審、得点表示員を委任する。
- ③ 審判員編成
・団体戦は、1回戦より準々決勝までは、主審(神奈川県協会)、線審2名と得点表示員1名を当該チームに割り当てる。
準決勝、決勝は、主審、サービスジャッジ及び線審4名(神奈川県協会)、得点表示員1名(当該チームに割り当てる)とする。
・個人戦(シングルス)は、1回戦より準々決勝までは、主審(神奈川県協会)、線審2名(得点表示員1名を兼務)を当該チームに割り当てる。準決勝、決勝は、主審、サービスジャッジ及び線審4名(神奈川県協会)、得点表示員1名(前のマッチでの敗者サイドが担当する)とする。

17. 備 考

- ① 事故等があった場合には、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。参加者は健康保険証を持参のこと。
- ② 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動のみに利用するものであり、それ以外に利用することはありません。
- ③ 新型コロナウイルス感染症等拡大防止対策を行う場合は、大会HPで案内いたします。
- ④ 競技中の怪我等の応急処置は主催者(主管者)で行いますが、障害保険は(公財)日本バドミントン協会に加入していますので、必要な方は、日バホームページの1種大会バドミントン事故報告書をご覧ください。